



ら び っ く La・BOOK

4月号

No.22

H26年度 図書館サービスをより多くの方に提供します!

- 1 安曇野市図書館の利用者カードをお持ちの方は、どなたでもリクエスト（図書の購入希望）ができるようになります。（年間 お1人10点まで）
- 2 送料をご負担いただいております相互貸借（市外の図書館から本を取り寄せての貸出）は、すべて無料となります。
- 3 インターネット等での図書館資料の予約サービスを周知し、みなさんの図書館利用を促進します。
- 4 みなさんが必要とする資料・情報を探し出したり、相談や質問を受け付けたりするレファレンスサービスを充実します。
- 5 図書館フェスタをはじめとする全館統一事業の充実を図ります。（みらい開館5周年記念）
- 6 三郷図書館、堀金図書館建設に向けた準備を進めます。

中央図書館の児童書企画展示

ことばの本

「ことば」の世界のおもしろさを、発見できる本をあつめました！読んで、声に出して楽しもう!!

■ことばあそびや英語の本、きっと役に立つ格言

『ことわざショウ』

／中川ひろたか

『それほんとう?』

／松岡享子

『ことばメガネ』

／アーサー・ビナード

『ひらがなだいぼうけん』／宮下すずか

『あいうえおおかみ』／くどうなおこ

『うそつきのつき』／内田麟太郎

『生麦生米生卵』／長谷川義史

『いま、なんさい?』／ひがしちから

『日本の昔話』／稲田和子・筒井悦子

『言葉はなぜ生まれたのか』／岡ノ谷一夫

『ピカピカ論語』／齋藤 孝 など多数あります。



4月23日は「子ども読書の日」



子どもたちが積極的に読書をするように「子ども読書の日」が設定されました。続いて5月12日まで「こどもの読書週間」です。市内図書館では、ことばの本の展示やおはなし会などを行いますのでお出かけください。

中央図書館

奮闘! 調べもの日記(レファレンス)

安曇野の空襲

B29 による空襲が多発した第二次世界大戦中の昭和20年、安曇野も爆撃を受けました。被害を受けたのは穂高と有明の2カ所、昭和20年5月19日午前11時40分頃のことでした。併せて死者2名、重傷者5名（後1名死亡）、軽傷者数名、家屋半壊数戸、窓ガラスの破損多数の被害がありました。穂高は当時の国民学校の南方150mの三枚橋地籍（みらいの隣）へ5発（内1発は不発弾）、有明は新屋区浜成へ12発投下され、軍が駐留していた穂高国民学校と有明国民学校を狙ったのではないかと考えられています。後に有明の被爆地には被爆遭難の碑が建てられました。



【関係資料】

『穂高町誌 第3巻（歴史編 下）』

穂高町誌編纂委員会 1991年

『南安曇郡誌 第3巻 上』

南安曇郡誌改訂編纂会 1974年

『大町・安曇の昭和史』 服部祐雄・井口博文 1999年

『穂高町の十五年戦争 町民がつづる戦争体験集』

穂高町戦争体験を語りつぐ会 1987年

『B29 穂高・有明爆撃 戦争体験を語る』

寺島美智子 2011年

『信濃毎日新聞』 昭和20年5月20日1面・21日2面

3月貸出ランキング

一般書

- 1 昭和の犬／姫野カオルコ
- 〃 ホテルローヤル／桜木紫乃
- 3 神様のカルテ 3／夏川草介
- 〃 白ゆき姫殺人事件／湊かなえ
- 〃 小さいうち／中島 京子
- 〃 ペテロの葬列／宮部みゆき
- 7 原罪／遠藤武文
- 〃 夢幻花／東野圭吾
- 9 穴／小山田浩子
- 〃 海賊とよばれた男 上／百田尚樹
- 〃 北の街物語／内田康夫
- 〃 桜ほうさら／宮部みゆき
- 〃 聖女の救済／東野圭吾

児童書

- 1 バムとケロのシリーズ／島田ゆか
- 2 かいけつゾロリシリーズ／原ゆたか
- 3 ミッケ! 6／ウォルター・ウィック

AV 資料

- 1 崖の上のポニョ／宮崎駿監督
- 2 黒部の太陽／熊井 啓監督
- 〃 トムとジェリーの大冒険／フィル・ローマン監督
- 〃 ハリー・ポッターと賢者の石／クリス・コロンバ監督
- 5 おじゃる丸／大地丙太郎

豊科図書館から

本のソムリエ（職員）おすすめ本

一般書

『さくら』

鈴木 進／美術年鑑社

書名通り丸ごと一

冊「さくらの本」です。桜を題材にした平安時代から現代までの芸術作品が楽しめます。桜の名所や名木、関連する美術館の案内もおすすめです。安曇野の桜の季節はもうすぐそこ！図書館にお花見にきませんか？

表紙

この本は豊科近代

美術館からの寄贈本です。近代美術館からの寄贈本は他にも展覧会の図録など多数あります。豊科図書館で黄色いシールが目印です。

児童書

『ぼくらは いつも いっしょだよ』

サム・マクブラットニィ／評論社

小さい茶色の野ウサギと大きい茶色の野ウサギの、ほのぼのとした毎日のお話が4話入っています。大きいウサギはおとうさんなんですか？ 小さいウサギに大切なことをやさしく教えます。

表紙

「どんなにきみが好きだからあててごらん」のシリーズ。一番好きな場所はきみのそばとお互いに心から思っている大きいウサギと小さいウサギの信頼と絆がとてもうれしいお話です。

私と図書館

図書館の隣に家があったら？！

(30代 女性)

4か月検診で絵本のプレゼントがあり「赤ちゃんに本を読んであげてくださいね。赤ちゃんは、ちゃんと聞いていますからね」と言われてから、いつのまにか寝る前に読むのが我が家の習慣となりました。今では毎晩、私が声をかけなくても息子は本を選びに行きます。帰省しても旅行に行っても、やっぱり寝る前は本。たまに私が疲れ果てて、「今日はとりあえず寝ようか」と言うのと「やだ、お願い！お願い！」せがんできます。

そんな息子も昨春から小学生になりました。それとほぼ同時に妹が生まれました。退院して帰ってくると、生まれたばかりの赤ちゃんに、「ぼくが本を読んであげる」と言って、自分が赤ちゃんの時の絵本を持ってきました。紙芝居のように絵を妹に見せながら、習いたてのひらがなをひとつひとつ読んでくれました。そんな毎日なので、月に2回は図書館に行き、今では息子が自分の本と妹の本を選んでくれます。そしてある時、息子は、「図書館の隣に家があったらよかったのにね」と。



※編集後記※

安曇野の春の風景のひとつに、田畑の土手焼きがある。ゆったりと煙がたなびき、黒々とした土手に変わる。その下には、もう雑草の緑の芽がのぞいている。

「いよいよ畑仕事が始まる」と気持ちも引き締まる。忙しくはなるが、本はいつも近くに置いておきたいと思っている。



編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111
 豊科図書館 ☎71-4022
 三郷図書館 ☎76-3078
 堀金図書館 ☎72-5796
 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>